

支援事例

商工会名	熊本市託麻 商工会	氏名	古閑和弘	情報開示の可否	可
支援テーマ	創業	題名	海のない地域から大海原へ		
	事業承継				
	販路拡大・販路支援				
	持続化補助金				

<支援企業の概要>

事業所名	K A I O L U R E S	従業員	2 人	創業/ 会社設立	創業日	2022年1月1日
業種	釣り具製造業	うち家族従業員	1 人		業歴	3年2ヶ月

○企業概要

「K A I O L U R E S ・カイオールアー」は、熊本市東区上南部に所在するウッドルアー（釣りで使用する木製の疑似餌）の製造事業者で、九州内の釣り具店への卸やインターネットでの小売を行っています。元々は、谷本祐樹社長の父親が、海王ルアーのブランド名で事業展開をされていて、関係企業のインドネシアの工場のみで製造を行っていました。現在は、菊池郡大津町にも工場を借り、国内の製造拠点になっています。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

【支援課題・支援計画】

（支援課題）父親の高齢化に伴う事業承継、顧客ニーズ対応のための国内製造拠点の構築

（短期計画）持続化補助金による国内製造拠点の構築及び販促活動

（中長期計画）事業承継、量産化に向けた製造拠点の再整備

（現状分析）

- ・強み：高性能でも求めやすい価格で提供（他社のウッドルアー、プラスチックルアー、樹脂ルアーと比較して）
- ・弱み：製造拠点が海外であるため不良品発生時の時間的・コスト的なロスが大きい、同様に細かな顧客ニーズを反映させてにくい
- ・機会：アウトドアブームや釣りガールの誕生等による市場規模の拡大、SDG s の普及による環境に配慮した釣り具への関心
- ・脅威：ネット販売を中心とした低価格競争（高品質が伝わりにくい）

○支援内容および支援後の状況・効果

父親からの事業承継に係る相談が入口でしたが、専門家を交えての相談を重ねる中で、谷本社長の新事業を整理していくものになりました。谷本社長も以前から父親の事業に携わられており、事業展開における課題を認識されていたので、まずは、持続化補助金の活用による国内製造拠点の構築を目指しました。事業計画の策定にあたっては、新ブランドの立ち上げ戦略を図るために新会社を設立するかたちで行いましたが、高齢である父親からの事業承継も視野に入れたものにも取り組まれました。

希望どおりの補助金採択を受けることが出来、現在は、製造拠点の構築による営業強化や、オーダーメイド等対応の顧客サービスの向上を図られています。事業承継においては、父親の取引先を約2年間かけて徐々に取引移行したことで、父親の会社にとっても円滑な廃業を向かえることとなりました。

最初に全ての課題抽出を行ったことで、事業展開のいくつかの方法を提案することが出来、円滑な計画策定に繋がりました。

○今後について（目標や課題など）

世界的半導体メーカーの進出地に隣接する大津町にも工場を構えていますが、その影響により物流や人材確保等、非効率な事業展開を強いられている点もあります。本社近隣に工場を移転し、事業拡大を図りたいと考えています。